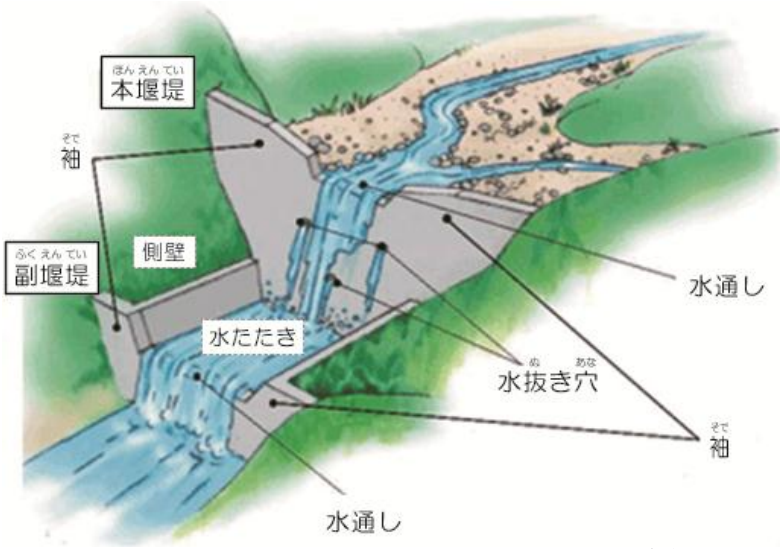
土_ワークシートF
＜小学校高学年・中学校：選択－６　様々な土砂災害対策について学ぶ＞

いろいろな砂防施設

年　　組　　番　　名前（　　）

◆砂防えん堤（土石流対策）



出典：NPO法人 土砂災害防止広報センター
（旧 砂防広報センター）

①土石流の土砂を受け止める

谷の出口などに土砂を貯める空間を持つ砂防えん堤をつくり、土石流を貯め、下流に流れ出るのを防止する。

②下流に流れ出す土砂の量を調節する

上流域から流れ出す土砂を一時的に貯め、中小洪水を利用して土砂を下流へ供給する。

◆斜面の工事（がけ崩れ対策）

出典：NPO法人 土砂災害防止広報センター
（旧 砂防広報センター）

法枠工（のりわくこう）

がけ崩れの危険がある斜面をコンクリートの枠で抑えて、斜面を崩れにくくする工事。
表面を草や木で覆って強化することもある。

出典：NPO法人 土砂災害防止広報センター
（旧 砂防広報センター）

擁壁工（ようへきこう）

がけ崩れの危険がある斜面をコンクリートの壁で抑えたり、崩れてくる土砂を受け止める壁や柵をつくったりする工事。

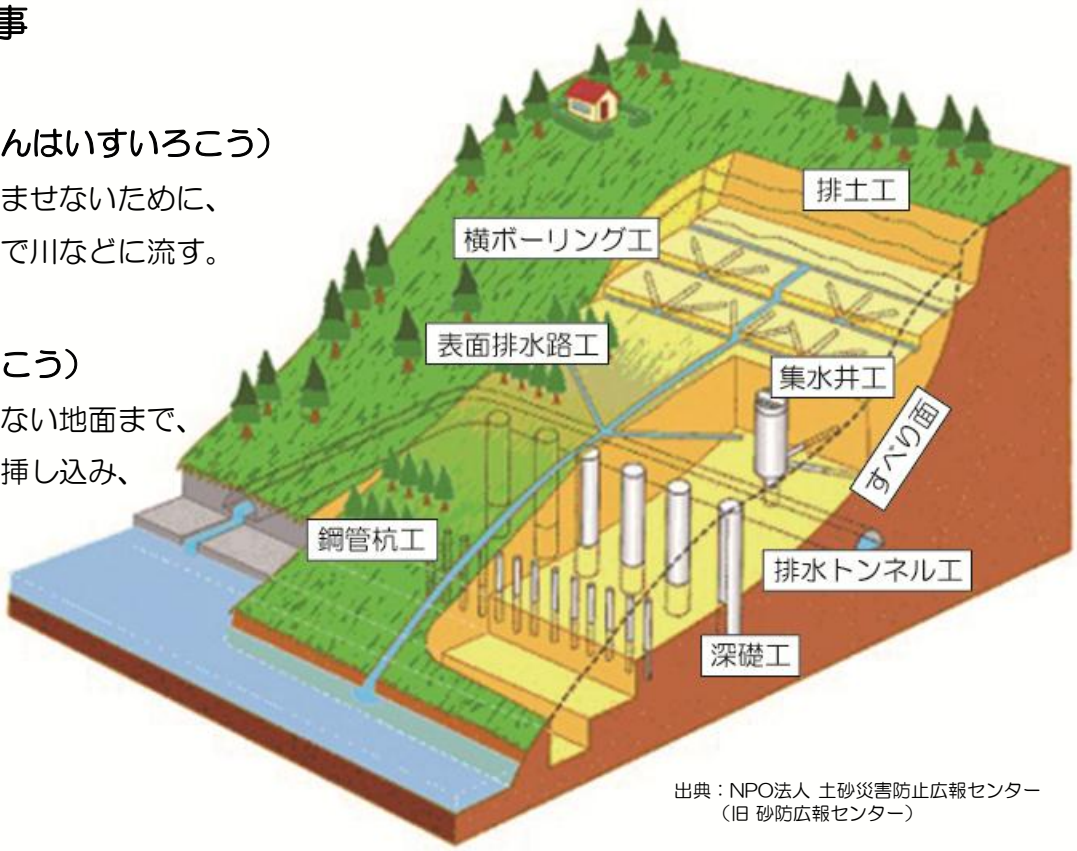
◆地すべり対策工事

表面排水路工（ひょうめんはいすいろこう）

雨水などを地中にしみこませないために、しみこむ前に地表の排水路で川などに流す。

鋼管杭工（こうかんぐいこう）

地すべりの下にある動かない地面まで、鋼鉄製の大きな杭を何本も挿し込み、地すべりを止める。



出典：NPO法人 土砂災害防止広報センター
（旧 砂防広報センター）

集水井工（しゅうすいせいこう）

地すべりの原因となる地下水を取りのぞくため、深い井戸（集水井）をほって地下水を集め、川などに流す。

深礎工（しんそこう）

地中の深い部分に太い杭を何本も打ち込んで、地面がすべらないように抑える。

◆きょうの授業で知ったことや思ったこと、考えたことを書いてみよう。